

Micro Focus メインフレームソリューション

スターターズキット

1. Enterprise Analyzer 評価利用ガイド

Enterprise Analyzer は、巨大で複雑なメインフレームアプリケーションに対して、正確な理解を与える知識ベースを提供する製品です。また、メインフレームアプリケーションの保守・開発に従事するエンジニアが高品質で生産性の高い作業を行うことをさまざまな角度から支援します。

Enterprise Analyzer は、クライアント・サーバー形態でのグループ利用が可能なアーキテクチャを採用しており、複数の開発者が共通の知識ベースを共有しながらトータルな生産性・品質向上を実現しています。しかし、評価利用においてはスタンドアロン構成をとっていただき、一台の単独の PC にインストールされた環境でご利用ください。これによって製品の提供する機能の詳細を短時間に習得することが可能となります。

1.1 評価環境の必須・推奨条件

ハードウェア

CPU: 3.0GHz プロセッサ以上

物理メモリ: 1GB RAM 以上

仮想メモリ: 1GB~3GB

HDD容量: 下記参照

- ワークスペース: 対象ソースコード容量の 40 倍程
- データベースクライアント: 200MB 以上
- Enterprise Analyzer: 200MB 以上
- Java add-on(オプション): 115MB 以上

使用するソフトウェアオプションなどによっても変動

ソフトウェア

オペレーションシステム: 下記のいずれか

Microsoft Windows XP Professional, Service Pack 3 以降, 32-bit / 64-bit

Microsoft Windows Server 2003, 32-bit / 64-bit

Microsoft Windows 7, 32-bit / 64-bit

Microsoft Windows Server 2008, 32-bit / 64-bit

データベースクライアント: SQL Server 2008 R2 Express (同梱)

- 最大 10GB までのリポジトリ用

その他(オプション):

Internet Explorer 6.0 以降

- HTML レポート出力表示用

Adobe Flash Player ActiveX

- Chart Viewer のグラフ表示用

Microsoft Office

- Enterprise Analyzer ツールでの Microsoft Office ファイル形式のレポート保存用
- エグゼクティブレポートでの標準偏差図に Excel が必要

Microsoft Visio

- Microsoft Visio .VSD ファイルの出力生成用 (Visio 無しで XML ベースの生成有り)

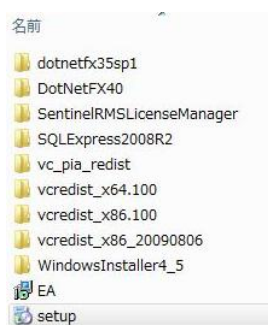
JRE 1.5.0 以降

- Java add-on 用

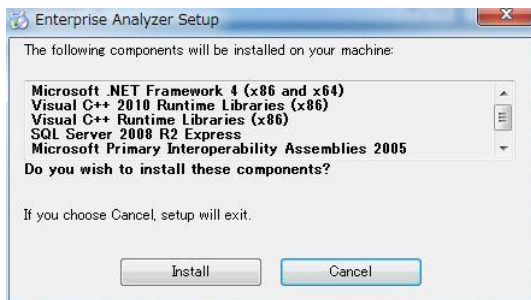
1.2 評価環境のインストール手順

Windows 7 や Windows Server 2008 へのインストール時は、ユーザーアカウント制御 (UAC) を一時的に無効にしておいてください。

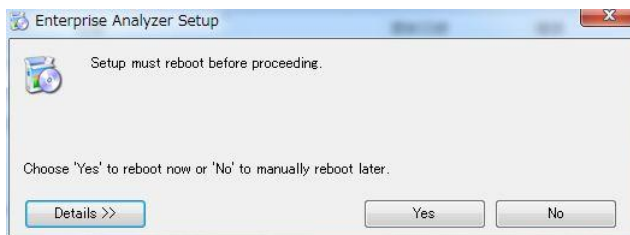
- 1) 製品のインストールフォルダで、setup.exe プログラムをダブルクリックします。



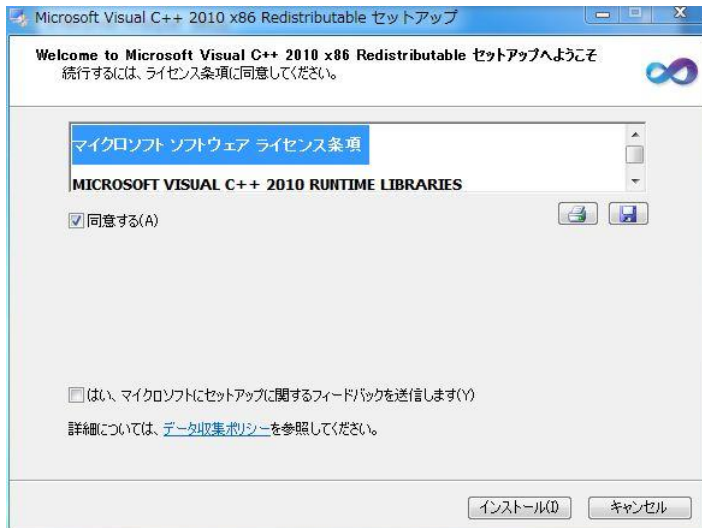
- 2) 前提条件のソフトウェアがマシンにインストールされていない場合は、Enterprise Analyzer のセットアップ画面で、不足しているソフトウェアをインストールするようプロンプトが表示されますので、[Install] ボタンをクリックします。既に前提条件ソフトウェアがマシンにインストールされている場合は、6)へ進みます。



- 3) 前提条件ソフトウェアのインストール中に再起動が必要な場合はその指示に従って、[Yes]ボタンをクリックします。



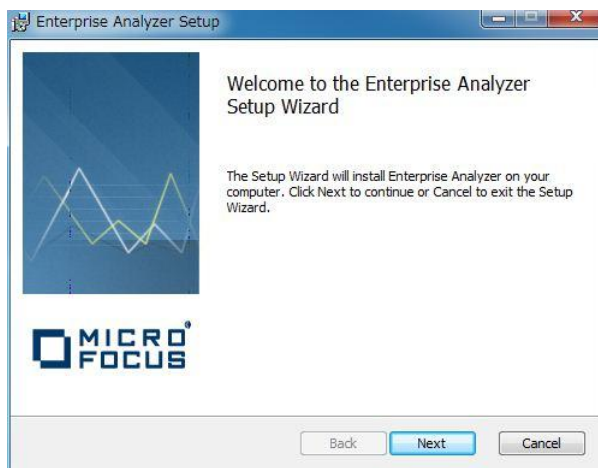
- 4) Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable セットアップではライセンス条項を読み、[同意する]をチェックし、[インストール]ボタンをクリックします。



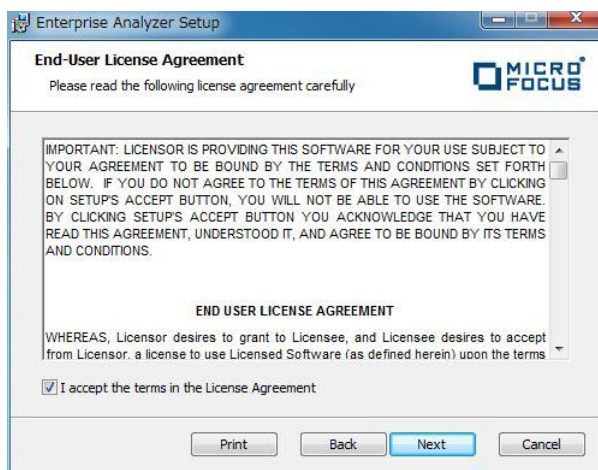
- 5) Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable のインストールが完了したら、[完了]ボタンをクリックします。



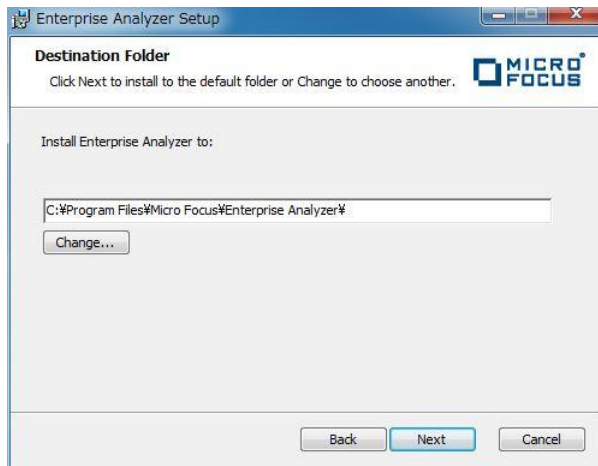
6) Welcome 画面が表示されますので、[Next]ボタンをクリックします。



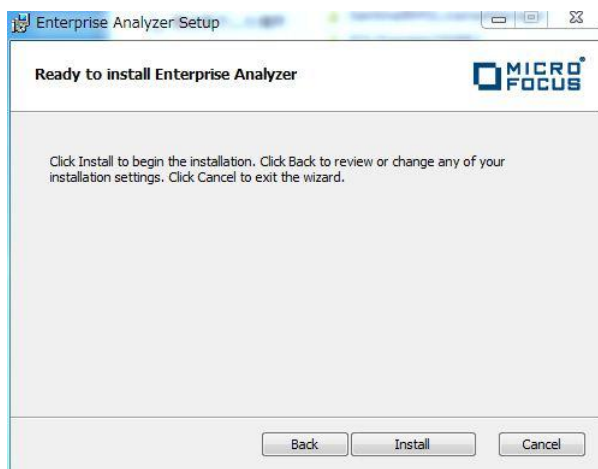
7) 「End-User License Agreement」画面で使用許諾契約書を読み、[I accept the terms in the license agreement]をチェックし、[Next]ボタンをクリックします。



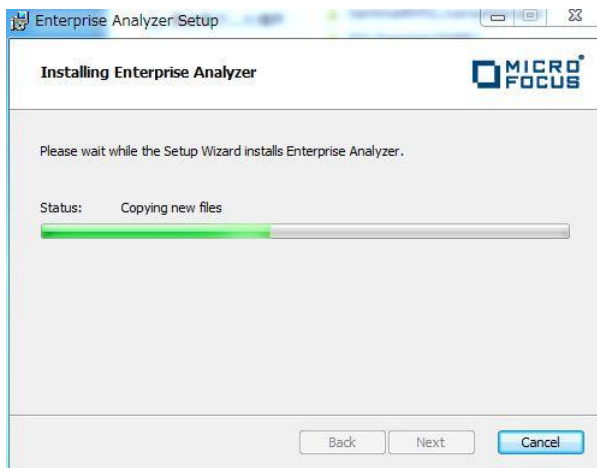
- 8) 「Destination Folder」画面でインストール先フォルダを選択します。デフォルトのフォルダで問題なければ[Next]ボタンをクリックします。別のフォルダを指定するには[Change...]ボタンをクリックして、画面の指示に従い変更します。



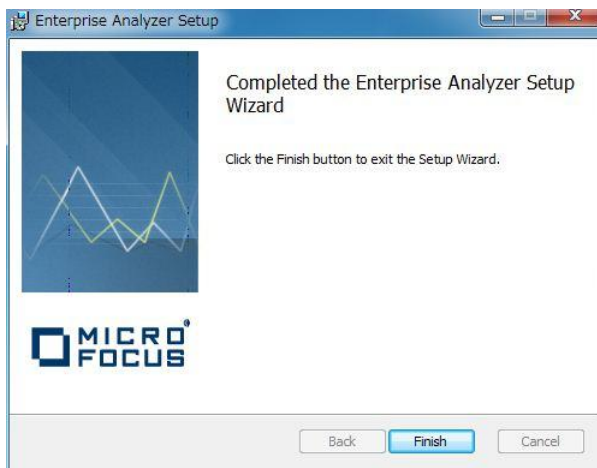
- 9) 「Ready to Install Enterprise Analyzer」画面が開き、プログラムをインストールする準備ができました。お使いのマシンにファイル転送を開始するには[Install]ボタンをクリックします。



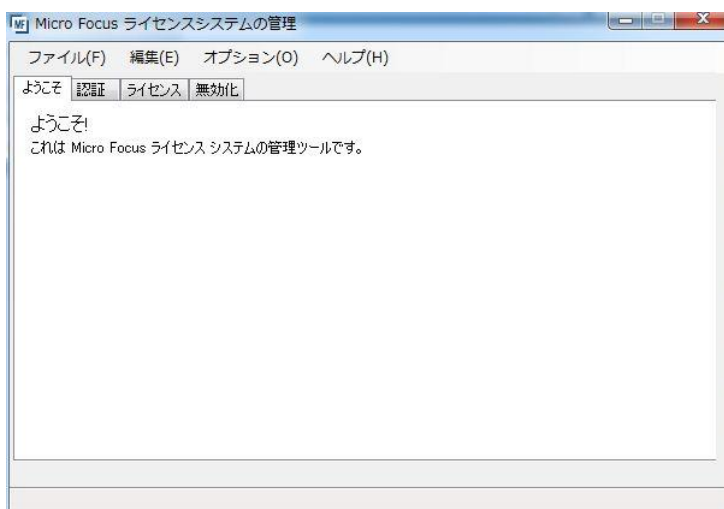
- 10) 転送の進行状況を確認し、しばらく待ちます。



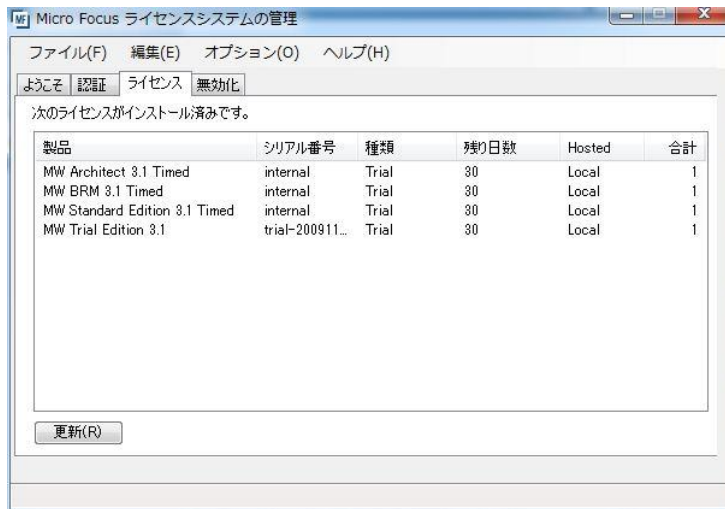
11) 転送が完了すると、Completed 画面が開きますので、[Finish]ボタンをクリックします。



12) 次に、Windows スタートメニュー > [Micro Focus License Manager] > [ライセンス管理システム] を選択し、ライセンスを確認してみます。



13) [ライセンス]タブを選択します。30 日間の評価使用が可能であることが確認できます。



1.3 ワークスペースの作成

1) Windows スタートメニュー > [Micro Focus] > [Enterprise Analyzer Administration]を選択し、Enterprise Analyzer Administration を起動します。

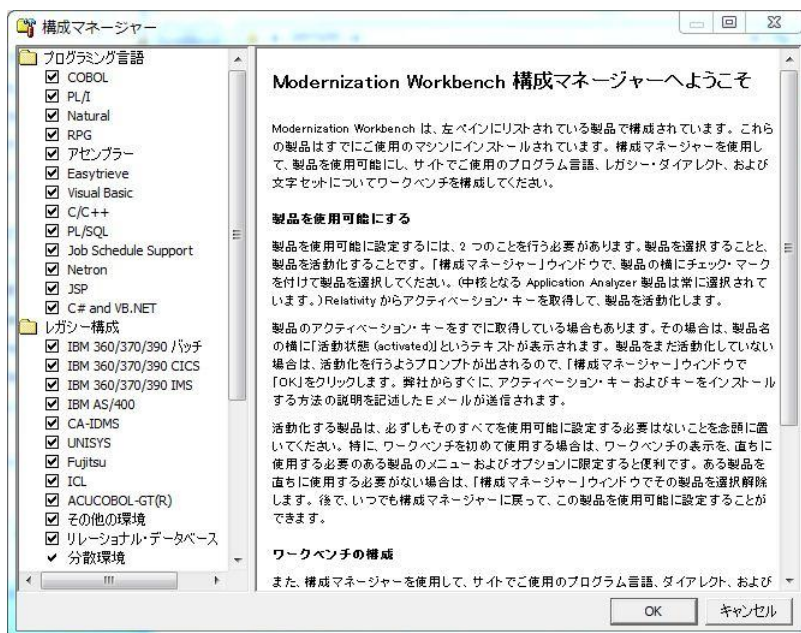


2) 評価期間中は評価ライセンスの残り日数を示す画面が表示されますので、確認し、[Close]ボタンをクリックします。

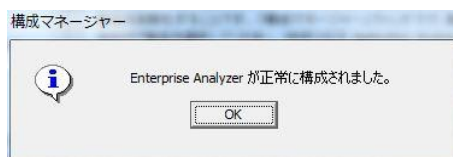


3) 「構成マネージャー」画面が表示されたら、アクティブにしたいプログラム言語、レガシー構成、文字セットなどを選択します。評価使用のために全ての有効なチェックボックスをチェックし、[OK]ボタ

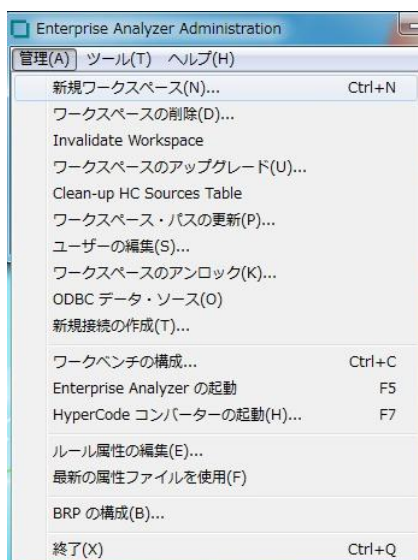
ンをクリックします。



4) 正常に構成されたことを示す画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



5) Enterprise Analyzer Administration のメニューで[管理] > [新規ワークスペース]を選択します。



- 6) 使用するデータベースは、「1.2 評価環境のインストール手順」で SQL Server 2008 R2 Express がインストールされていますので、[新規ワークスペース(Small Local Workspace with MS SQL Server Express)]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- 7) 予め共有化しておいた任意のフォルダを指定し、新規のワークスペースファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。



- 8) ワークスペースファイルが作成されると下記メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックし終了します。



以上で、Enterprise Analyzer が使用可能となります。